

町田TC 指導指針

○町田TCの存在目的(ベクトル合わせ)

1、良い選手の発掘 & 育成

全チームのスタッフが関わる事で正確な情報があつまる。

2、良い指導の提供(サッカー指導と人間指導)

色々な年代のスタッフがいる事で、色々なところからアプローチできる。

3、同レベル同士での競争(学年関係ない※飛び級でも可能)

競争意識を刺激し、イメージの共有がしやすい。

指導で重要なこと

「Players First!」

(子供たちにとって何が一番良いかという考えを第一に持つ)

- ①長期的な視野に立って一人一人の選手に目を向ける。(JFA・TFA共通)
→完成期(20歳前後)に向けて、フェアで逞しい選手の育成を目指して
- ②サッカーの技術・戦術・メンタル・人間性を育成するためにさまざまな面からアプローチする。
- ③選手と指導者が一緒に成長する環境・雰囲気・姿勢創り。

1. 少年期の発達段階を考慮し、基本的な技術・戦術・メンタル・人間性の育成を図る。
2. 少年サッカー指導に携わる方々に向けた研修会等を設け、指導者養成を図る。
3. 同レベルの選手同士による刺激を効果的に引き出し、さらなる成長を図る。

これらのことを達成するため各チームの指導者・少年サッカーに関わる人達
(保護者・運営・審判・サッカー仲間)と協力し推進する

<ビジョン>

○サッカーの特性を理解し、楽しさに触れながらプレーする選手の育成

→知る楽しさ・分かった楽しさ・関わる楽しさ・勝負の楽しさの環境提供

○ストロングポイント(自身の強み・らしさ)を持った選手の育成 (MFA TC指導者講習会提案内容)

「創造性は基本をしっかり身に
付けた個人が集まってこそ発
揮されるものだ」

By クロード・デュソー

どんな選手を育てるか<ミッション(基本の徹底)>

○クリエイティブ(パーフェクトスキルを持った)で逞しい選手の育成

○観て判断する選手の育成

○サッカーIQが高く判断の伴ったテクニックを発揮する選手の育成(MFA TC指導者による講習会提案内容)

→ファーストタッチの質・プレーの選択

○攻守に関わり続ける選手の育成

○異なる環境で積極的にコミュニケーションできる選手の育成(MFA TC指導者による講習会提案内容)

○リスペクトの心をもてる選手の育成(教育のしつけ)

※クリエイティブとは
創造的な、独創的な、創造力
のある、工夫して作る、編み出
されるなどの意味を持つ言葉
である。

「基本的なトレーニングをやって
いて創造性が育たない選手は
最初から創造性を持ち合わせ
てない選手だ」

By アンドレ・メル

<バリュー>合言葉(町田TC独自のキーワード)

○最後まであきらめない全力プレーが出来る選手の育成(MFA TC指導者による講習会提案内容)

○見せるプレーが出来る選手の育成(MFA TC指導者による講習会提案内容)

○感謝・挨拶・荷物の整理・整頓の徹底できる選手の育成

○結果も大事だが過程を評価しよう！

町田TC 指導指針

- ・「ビジョン」「ミッション」「バリュー」を常に意識する。
- ・各年代・選手に合った関わり方、メニューの決定
- ・試合を観て常に勉強する姿勢
- ・研修会等で知識、経験を身に付ける
- ・年初に毎月のテーマを決める

どんな選手を育てるか<ミッション(基本の徹底)>

クリエイティブ(パーフェクトスキルをもった)で逞しい選手の育成

観て判断する選手の育成

- ・次のプレーを意識し、観る意識を植え付ける(何を・いつ・どこで・どのタイミングで)

判断の伴ったテクニックの発揮をする選手の育成(ファーストタッチの質・プレーの選択)

- ・パーフェクトスキルの獲得(左右同じようにボールを扱え、且つボールを簡単に失わない確かな技術)
- ・「個人戦術」の理解とプレーでの具現化(攻守の優先順位)※別紙参照
- ・動きながらのプレーの徹底

攻守に関わり続ける選手の育成

- ・ボールに寄る、パスしたら動く、周りを観る、ボールを奪いに行く、OFF THE BALLでの動きの質

積極的にコミュニケーションできる選手の育成

- ・積極的に自分の考えを伝え、他社の思いを受け止めことが出来る選手の育成

リスペクトの心をもてる選手の育成(教育のしつけ)

- ・勝利のために全力でプレーすること、相手・審判・味方・競技役員・観客・施設・用具に対してのリスペクトの心を持つことを教えていくこと。

世界ではU11年代で既に
パーフェクトスキルを身に
付けている事が絶対条件
となりつつある

個人戦術

個人戦術とは、「『自分+1人の味方+1人の相手』という関係の中でどのようにプレーするかを考えること」という定義になります。

味方のポジション、相手のアクション、ボールの状況を踏まえた中でどのようなプレーをするのか、を考えるのが個人戦術の概念となります。

<個人戦術(攻守)とは> ※今持っている技術で戦う術

- 周りを観る: 周りの状況の変化を見ながらプレーを選択します。(攻守)
- 予測する: 予測をしながらプレーします。(攻守)
- ボールに寄る: 相手より先にボールを触ることが大切。そのためにボールに寄ります。(特に守備)
- パスアンドゴー: パスの後も連続してプレーします。(攻守)

<サッカーの4つの局面でそれぞれ個人戦術がある>

攻撃の優先順位

突破

ゴールに向かう。相手の背後を突く。

幅と深さ

スペースをつくる。サポートをする。

活動性

コンビネーションが必要(無秩序ではない)

即興性

創造性、意外性、柔軟性

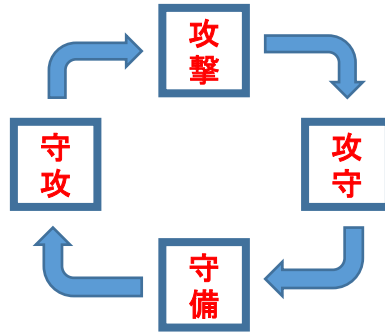


守攻の優先順位

・出来るだけ早く攻撃の態勢をつくる

攻守の優先順位

・出来るだけ早く守備の態勢をつくる



守備の優先順位

遅らせる

ボールを前に運ばせない。

厚みと集結

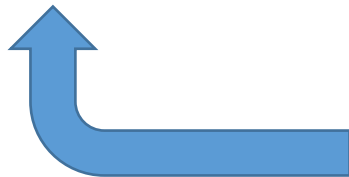
ボールへの集結。ゴールへの集結。カバーリング。

バランス

ポジショニング。マーク

コントロール

自制(的確な状況判断)。相手をコントロールする。





実施日	2018年6月9日(土)	テーマ	前線の崩し
-----	--------------	-----	-------

W-up...パス&コントロール
 KF...コントロール・パスの質
 ・コミュニケーション、タイミング
 ・マークを外す
 ・動きながらの質

Tr1...2 : 2 + F + 2 : 2 + GK
 OG...パス IN で一人侵入可、奪ったら F にパス
 KF... 観る (味方・相手・スペース)
 ・3人目の開わり
 ・動きながらのテクニック
 ・マークの外し方
 ・ゴール、突破意識

セバレート

Tr2...3 : 2 + 3 : 2
 OG...パス IN で一人侵入可、奪ったら F にパス
 KF... 観る (味方・相手・スペース)
 ・3人目の開わり
 ・動きながらのテクニック
 ・マークの外し方
 ・ゴール、突破意識

セバレート

Game...6 : 6 + GK
 1-3-1-2 vs 1-3-1-2

コメント

サイン

Trメニューの作り方



実施日	2018年 月 日 ()	テーマ	ポゼッション
-----	---------------	-----	--------

W-up...6 : 3ハンドパス
 OG...パスカット、奪ったら交代
 OP...①ボール2個、②条件付き
 KF...
 ・観る
 ・コミュニケーション
 ・ポジショニング (角度、タイミング、距離)

Tr1...5 : 3
 OG...DFは奪って3名でパス3本通したら交代
 KF...
 ・観る
 ・コミュニケーション
 ・ポジショニング (角度、タイミング、距離、幅、深さ)

Tr2...4 : 4 + 1F + 1 : 1
 OG...OFはFWに当てる、ドリブル突破
 DFは奪ったら攻守交代
 KF...
 ・観る
 ・コミュニケーション
 ・ポジショニング (角度、タイミング、距離、幅、深さ)
 ・切替

Game
 1-3-2-1 vs 1-2-3-1

コメント

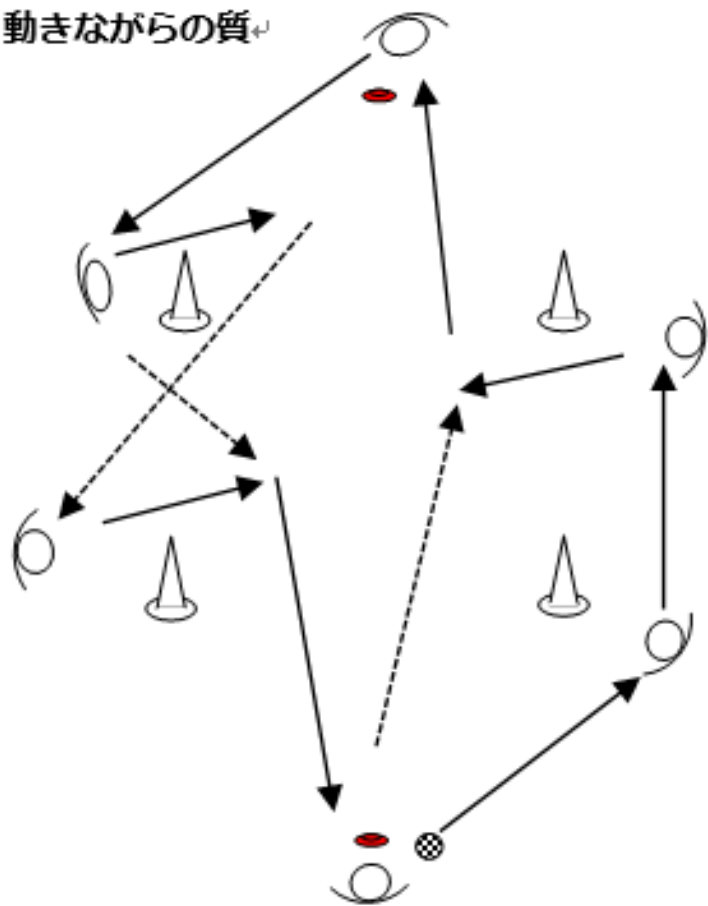
サイン

W-UP

W-up…パス&コントロール

KF…・コントロール・パスの質

- ・コミュニケーション、タイミング
- ・マークを外す
- ・動きながらの質



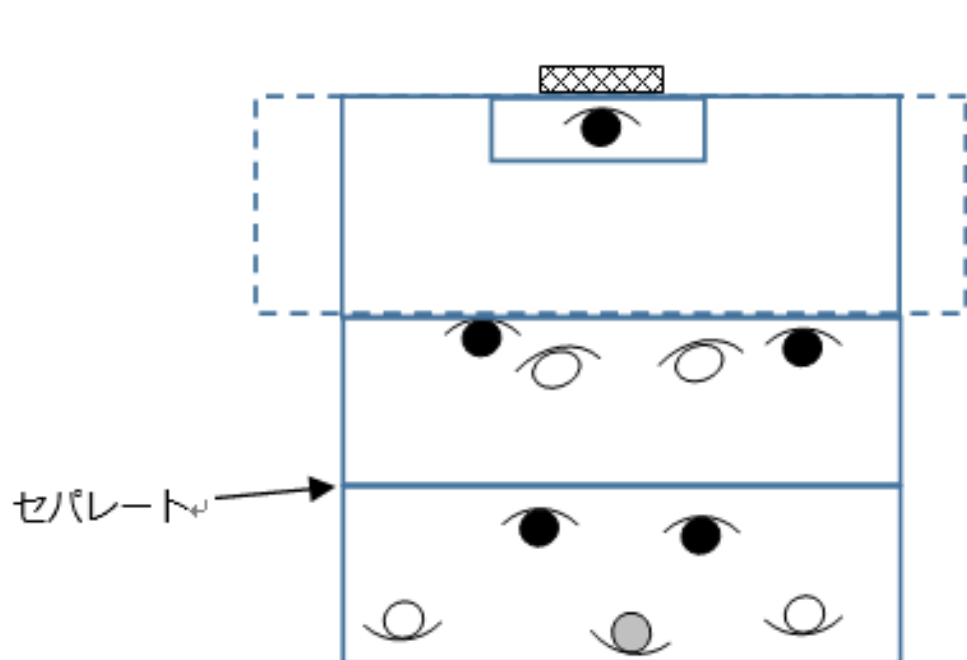
Tr1

Tr1…2 : 2 + F + 2 : 2 + GK

OG…パス IN で一人侵入可、奪ったら F にパス

KF…・観る (味方・相手・スペース)

- ・3人目の関わり
- ・動きながらのテクニック
- ・マークの外し方
- ・ゴール、突破意識



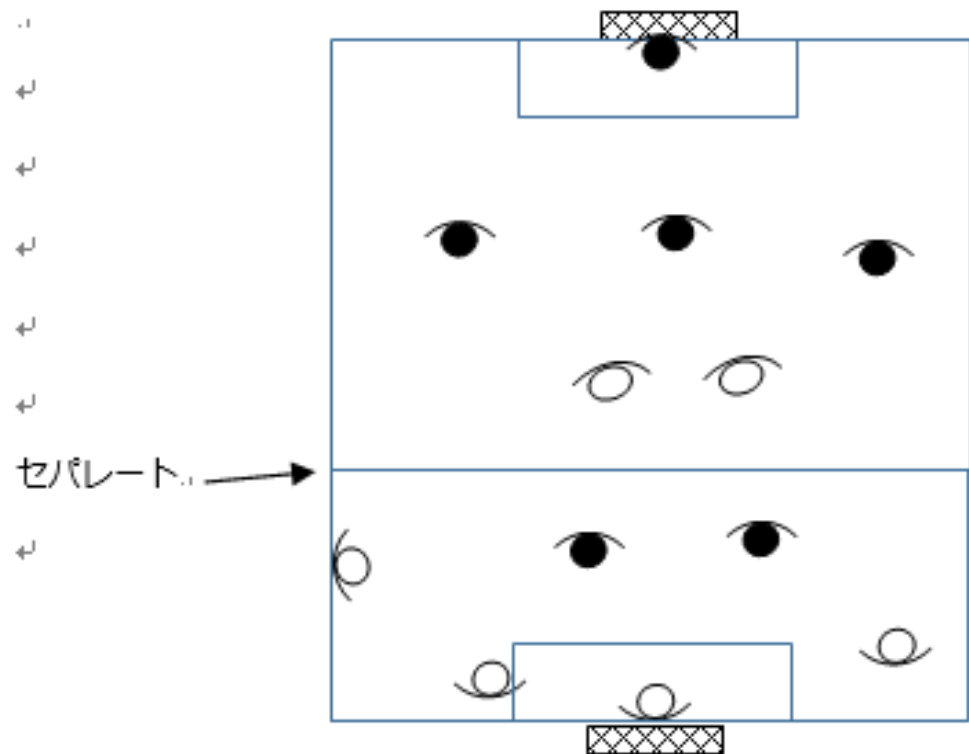
Tr2

Tr2... 3 : 2 + 3 : 2⁺

OG...パスINで一人侵入可、奪ったらFにパス。

KF...観る(味方・相手・スペース)。

- ・3人目の関わり。
- ・動きながらのテクニック。
- ・マークの外し方。
- ・ゴール、突破意識。



game

Game... 6 : 6 + GK⁺

1 - 3 - 1 - 2 v s 1 - 3 - 1 - 2⁺

